

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	ごみ減量対策課担当課長 内海 春信
環境-05 ごみ収集事業	自治事務 法定受託事務	主管課 ごみ減量対策課(資源循環課) 関連課 環境センター
総合計画上の位置付け	分野	生活環境
	施策の方針	3Rの推進・ごみの適正処理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	一般廃棄物の適正な処理のため。
効果	生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

2 平成27年度に実施した事業の概要

資源物やごみについて収集・運搬を民間委託により実施した。
全市で家庭系ごみの有料化を実施した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人 口	177,464人	177,243人	人 口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	
事業の対象者数			事業の対象者数		
決算値(千円)	546,589	639,294	当初予算(千円)	654,519	
国県支出金			国県支出金		
地方債			地方債		
その他	43,752	122,238	その他	122,826	
一般財源	502,837	517,056	一般財源	531,693	
人員配置数	7.0	3.0	人員配置数	3.0	
人件費(千円)	55,673	23,763	人件費(千円)	24,422	
総事業費(千円)	602,262	663,057	総事業費(千円)	678,941	
市民1人当りの経費(円)	3,394	3,741	市民1人当りの経費(円)	3,839	
対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	4. 市民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-負担導入済 ○-2. 適正な受益者負担を導入している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-協働実施済 協働実施済の場合のパートナー 自治町内会
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 有料化開始当初に要した経費以外については経常的に必要となることや、戸別収集モデル地区の収集が戸別からクリーンステーション収集へ変更となったものの、直営で収集していた地区を委託化したことによる経費増等により、前年度と同規模となる。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	ごみ収集事業については、入札の導入や事業の効率化などが達成できることによって、委託料について削減の可能性があるため、削減余地ありとした。 なお、平成27年度から受益者負担を求めて家庭系ごみ有料化を実施し、市民等と協働して行う事業として有効に実施できたと考える。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	有料化開始当初の市民への有料袋使用等ごみ出しルール遵守に関する周知。	
課題解決のために行った平成27年度の実績	有料化開始当初に有料化に係る啓発にあたる嘱託員による巡回、コールセンターの設置による市民問い合わせ窓口の設置により、周知啓発に努めた。	☒ 解決 ☐ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	1人当たりのごみ排出量(平成26年度 ※国報告数値)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	1031g	894g	820g	894g	1015g	926g	988g	911g	977g

比較事項	リサイクル率(平成26年度 ※国報告数値)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	48.2%	30.1%	21.9%	24.9%	23.8%	33.5%	42.0%	38.8%	43.5%

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	人口1人当たりのごみ排出量は県内では4番目に多くなっているが、リサイクル率は高く、48.2%は県内トップである。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	ごみの焼却量の削減					単位	トン	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
平成26年度末に今泉クリーンセンターが焼却を停止したため、焼却量の削減は安定的で着実なごみ処理体制の構築に必要である。	目標値	30,721	29,923	32,273						
	実績値	37,284	34,882							
	達成率	82.4%	85.8%							

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	
-----------------------	--

● 事業に関する特記事項

☒ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
---	---